

活字の学び

新聞で「読解力」アップ

教育現場ではいま、子どもたちの読解力を向上させる有力な手立てとして、新聞の活用が注目が集まっている。読み書きする「チカラ」を高めるために、どうすればいいのか。読売新聞は、日々の紙面などを使って「活字の学び」を広める活動を続けている。(教育ネットワーク事務局)

フェイクを見破る
「動物園からライオンが逃げた」。ネットでこんなニュースを見たらどうする?。教育ネットワーク事務局の石橋大祐記者が、55人の子どもたちに話し始める。
江戸川区立平井東小学校



石橋記者(中央)のアドバイスを受けるグループワークに取り組む子どもたち。保護者も近くで見学できる(2019年12月4日、東京都江戸川区の区立平井東小学校で)。(秋山哲也撮影)

土曜出前授業・情報読む目 親子で養う

(東京都)で、2019年12月に行われた出前授業。土曜日

に予定されていたが、台風の影響で延期され、学校公開日に合わせての開催となった。

「ライオンが逃げた」とツイッターで見ただけでは新聞はニュースにしません。いろいろな人に取材して、本当とわかるまでは報道しませ

ん」。石橋記者は新聞を片手に、クイズやワークを交えながら、「情報を読み取る目」の大切さについて説明した。

フェイク(偽)ニュースに

だまされないためには、ネット

にあふれる玉石混交の情報

とどう向き合うか。「『家

庭では教えられない』という

保護者も増えています」。授

業を受けた6年生の担任を務

める清水西教諭は話す。「正

しい情報を取り取るコツをプ

ロに教えてもらって、とても

参考になる」と強調した。

「取材」で気づき

「隣の友達の記事を書こう」というワークでは、参観

生

生

生

生

生

生

生

生

生

生

生

生



読売新聞教育ネットワーク
アドバイザー 田中孝宏氏

4月から小学校で本格的に始まった新学習指導要領は、学習の基盤となる資質・能力として、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力を挙げられています。新聞を教材にすれば、これらの力を身につけることができ、記事を読むことで読解力が向上するだけでなく、裏づけを取った報道とフェイクニュースを見分け、正



メモ帳を手に、交代で質問し合う子どもたち

ること、たくさん情報の中から、自分で考えながら取捨選択して他人に伝えていくことの大切さを、楽しみながら気づかせるのが狙いだ。

経済協力開発機構(OECD

D)による学力

調査で、日本の

若者の読解力低

下が明らかにな

ったこともあつ

て保護者の関心

は高い。長女の

授業を参観した

新井統子さん

は、「SNS

などの短い文

に慣れている子

どもたちは、文

章を書く力も落

ちていると感じ

ます」と話す。

勤務先の大手シティーホテル

でも、若手社員の文章力の低

下が問題になっていてとい

う。「娘には『メモをとってま

とめる力が大切だよ』と声を

かけました。教室で楽しい時

間を一緒に過ごせました」と

笑顔で振り返った。

石橋記者は、「読む、書く、

話す、考える力を身につける

には、しっかりと文章を読

むことが近道。毎日少しずつ

でも新聞を読めば、『コミュニ

ケーションの力も必ず身につく』と締めくくった。

授業を見守った同校の宮本

知司校長は、「30年の教員生

活で、児童の文章力や人と関

わる力などが弱くなったと感

じる」と危機感を募らせる。

「ニュースについて、保護者

も一緒に考える機会を提供す

ることで、読む力、書く力を

身につけるためのきっかけに

してもらえれば」と期待を込

学習意欲を刺激

しい情報を選択するニュース・リテラシーも育まれます。

新聞を活用するもう一つのメリッ

トは、子どもが教科書から得た知識

を、現実社会で起きている問題と

結びつけて考えられるようになるこ

とです。学校での学びが社会でも役

立つと実感したとき、子どもの学習

意欲は一気に高まり、受け身から主

体的に学んでいく姿勢へと

変わっていくでしょう。

田中氏は小学校長として長年、新

聞活用学習に取り組む、4月から読

売新聞教育ネットワーク・アドバイ

ザーに就任した。

新聞活用 記者が教える

読売新聞の教育ネットワークでは、「新聞活用」をテーマに、小中高校で新聞記者が講師を務める出前授業を展開している。「土曜出前授業」なら、保護者も一緒に「読解力」への理解を深められるのが特徴だ。「ニュース・リテラシー」教育は最

* 読売の出前授業

も力を入れている分野の一つだ。「新聞の読み方」を土台に、インターネットにあふれる情報を効率的に読み取る目の鍛え方を身につけることが出来る実践的な内容。保護者からも「情報を見る目が変わった」と好評だ。新聞作りの基礎知識としては、「インタビューの仕方」や「記事の書き方」のほか、「スクラップの仕方」「新聞の読み比べ」など、プロなら

ではの技術をアドバイスする。将来の進路選択についての「キャリア教育」も特徴の一つ。職業を選ぶ上で欠かせない情報の取り入れ方について、新聞を活用しながら楽しく学べる内容だ。詳しくは、教育ネットワーク事務局のサイト(<https://kyoiku.yomiuri.co.jp/>)で。

